

委員長報告(継続審査)に賛成の立場で討論します。

選定過程が不透明であるとの意見がある。また、市民の方からのいろいろな意見、灘手地区の陳情、成徳地区の要望(陳情に間に合わなかったのが要望となった)、私の視点などを含めた新聞報道、テレビ報道などマスコミにも取り上げられ市民の関心も高いものがある。

このことを受け本日市長から議案取り下げ(事件撤回請求書)が出された。結果は不承認ではあったが、多くの声を聞くことが必要。早急に結論を出さず、再度協議する中で教育委員会に説明責任を果たしていただきたい。スケジュール的には、「継続審査」としても来年4月の開校は間違いない。

最終形は明倫小を含めた3校の統合である。明倫小の卒業生は来年4月から東中に通うこととなる。移行措置期間として3年があるが。選考過程については、粛々と進められたので申し上げるべきではないが、結論としては、様々な意見が噴出する中で早急に決めるべきではなく、市民の合意を図るべきである。

打吹山の麓の学校ということで、「うつぶき」という名前に灘手、明倫、成徳の誰も反対することはないと個人的には思う。

このことを申し上げ、委員長報告に賛成の立場の討論とします。